

お知らせ

①古本市のご協力金で買った本

ライトノベル

■「Re:ゼロから始める異世界生活」①~⑭

長月 達平/MF 文庫J

■「いっしょのおしごと!」①~⑥

白鳥 士郎/GA 文庫

■「ノーゲーム・ノーライフ」①~⑧

榎宮祐/MF 文庫J

コミック

■「バクマン。」全20巻

小畑 健/ジャンプコミックス

■「ちはやふる」10~30巻

10-30巻/末次 由紀/BE LOVE KC



②英語多読マラソン

今月末まで実施中!

4219語読了できたら、賞品を貰える☆ (抽選で10名様まで)

一分間に100語読めるレベルを選ぶと、楽々読了可能です。

40分くらいの英語読書を試してみませんか?

ツンとすました図書館の本にまぎれて、

意外なお宝本があるわけです。

吹き出し確実で、授業中には読めない本とか...

笑いのテンポが、自分とシンクロした本とか...

おふざけが過ぎる文体なのに、真面目な本とか。

オモロイ本、発掘しました!

無給ボストク 昆虫記のふいをした爆笑就活記

「バッタを倒しにアフリカへ」

前野ウルト浩太郎/光文社新書



表紙の写真からして、おかしいではないか! 著者はバッタ専門の昆虫博士。モーリタニアで研究成果を出し、日本で研究職を得ようとアフリカへ渡った。ところが最悪の大干ばつで頼みのバッタがいらない! バッタ待ちでも研究ネタになるコスパに優れた

調査や、バッタ集めための心温まる買収にも人柄が出ています。研究者でニコニコ超会議に出演したのも、著者の個性を知れば誰もがファンになるという吸引力の強さゆえか? 刊行5か月でのAmazonレビュー曲線がヤバイ! 今年話題のノンフィクション本!

にやけ・吹き出し注意警報発令!

「大泉エッセイ 僕が綴った16年」

大泉洋/KADOKAWA



エッセイも期待を裏切らない☆家族への愛着、北海道への郷土愛、とぼけた話は山ほど。テレビに出始めた24歳大学生時代から人気俳優となった40歳までのエッセイ集。若い時の文章は、発想も構成も滅茶苦茶で大泉

節がすでに炸裂。特に、ネタの宝庫だった爺ちゃん話がイイ。様々な頓珍漢トラブルにも、アンポンタンに返す大泉が最高! 40歳で書き下ろしたエッセイでは、なぜ全国区の仕事を入れたのか、その理由を知るにつけ、彼の北海道への愛の深さに感激した。



小説とエッセイで ギャップが凄すぎ

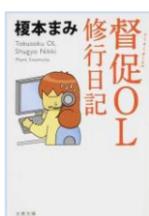
「乙女なげやり」三浦しをん/新潮文庫

小説「舟を編む」の著者であるが、エッセイになると、本と少女漫画やBLのヲタ話&趣味の妄想の話に歯止めが効かない。本書は趣味的にはマイルドな部類。なおかつ面白さは超絶なの

で、躊躇なく老若男女にお勧めできる。何で、こうも人のとんでもない想像やら度が過ぎる話って面白んだ? 大好きなバンドボーカルの飼い猫に自分になったなら、どんな会話になるかとか...。いい年した大人が甚だ夢見がちなのだが、全編に渡る自由さ加減に「ばかだな〜、あはは〜」と、笑えて心が満たされます。(以上 千葉)

1時間に60本の電話?!

「督促OL修行日記」榎本 まみ/文春文庫



就職氷河期にやっとなつた内定。配属された先は最も「えぐい」とされるキャッシングの回収、いわゆる借金の取り立て部署だった! 朝から晩まで電話口で怒鳴り続けられ、入社半年で10キロ減。しかし著者のすごいところはそこから一念発起、独自に編み出した技で年間2000億円の債権を回収するまでになったところ。督促業務をコミュニケーションのブートキャンプにたとえ、いっばしのOLにしてくれたと感謝する前向きさは見習いたい。でもできれば督促する側にもされる側にもなりたくないなあ...

「なんちゃやない(どうってことない)ってホッとする

「洗えば使える泥名言」西原理恵子/文藝春秋



「歴史上の偉人とかビジネスの成功者の名言みたいに輝かしいものじゃありません。どっちかというところグズだったり身もフタもなかったり、ワケわかんなかったりするような言葉ばかりです。」と著者が言う通り、教育上お勧めできないモノかもしれませんが、悩んだり行き詰ったりしたときにはこれを読んで大声で笑い飛ばして欲しい。なかでも、鎌倉市図書館の司書が夏休みの終わりにツイートした言葉は、一番私の心に響いた名言です。

動物病院を受診する前には是非読んで!

「珍獣ドクター」の動物よろず相談記

田向 健一/河出書房新社

動物病院での面白エピソードが盛りだくさん! なおかつ獣医さんの本音が聞ける貴重な一冊。一問一答形式で飼主の素朴な疑問に先生が答えるのですが「そんなこと聞く?」という質問もあれば「私も聞くかも...。」という質問まで、色々な飼主相手にホントに獣医さんって大変なお仕事だと身につまされます。この本でペットについて理

解が深まった方は、同じ作者の珍獣バージョン「珍獣の医学」もお勧めします。(以上 梅谷)

鳥類大好きがあふれ出てますよ!

「鳥類学者だからって、鳥が好きだと思うなよ。」

川上 和人/新潮社



タイトルからしてドッキリ! 何が書いてあるの? 本を開くと、オモロイやん! 鳥類学者の書いた文章とは思えない! 実際はかなり過酷であろう観察現場も、わかりやすい言葉で面白おかしくユーモアたっぷりに書かれている。幼少期から鳥好きというわけではなかったようだが、それでも研究を続けてきた結果、鳥達への愛は深まり続けているようだ。インパクトのあるタイトルを付けて、作者に続く鳥類学者を増やそうとしているのではないかな?

ふざけた医者なのに話したくなるのです

「イン・ザ・プール」奥田 英朗/文春文庫



確認行為が習慣化した「強迫神経症」のライター、携帯電話が手放せぬ中毒症状が現れた高校生など、おかしくなった患者を診察する精神科医の伊良部自身がおかしな存在。医師という立場や患者の気持ちなど全く無視。しかし、伊良部の無責任に聞こえる発言は、治療に直接関係していないようにみえて最終的には患者を救い、読者も読後スッキリ! 伊良部先生シリーズは「空中ブランコ」「町長選挙」と続く。図書館にあります! 全て快作!

関西弁のおもしろハウツー本です

「夢をかなえるワケ」フランクガネーシャの教え

水野 敬也/飛鳥新社



世界一周旅行に連れて行ってくれるような大金持ちで、加えてイケメンの男性と結婚するのが夢のOLが、象の姿をして関西弁を喋るインドの神様「ガネーシャ」と出会う。いい年をして夢を簡単に手に入れようとする主人公に、ガネーシャは簡単なようでも難解な課題を次々と出して行く。

果たして主人公の夢はかなうのか!? ガネーシャの課題は人が生きて行く上で必ず役に立つものばかりで本当に納得! こてこての関西弁がたまらなく良い! 自己啓発本なのに最後は涙がポロリ。シリーズ1・2も図書館にあります! (以上 田中)

時事問題 11月の 時事の棚



そうだったのか、中国!

中国共産党全国代表大会が開催された。これは、人事や党の基本路線を決める最重要会議。2期目に入る習近平国家主席は、側近の登用や自らの政治思想を盛り込む党規約改正などを実現させ、一段の権力集中に成功したようだ。

■『現代中国をしるための44章』エリアス・イズ/藤野彰・編/明石書店 ■『知らないと恥をかく世界の大大問題8』池上彰/角川新書 ■『そうだったのか! 中国』池上彰/集英社文庫 ■Newsweek 日本版『中国予測はなぜ間違っているのか』10/24号、『中国が北朝鮮を見捨てる日』10/3号